

令和3年度 卒業生からのメッセージ

「ともに 競い合える環境」

私はフレキシブルディスプレイに興味を持ち、東北大学の電気情報物理工学科のAO入試Ⅲ期を受験しました。日立一高で支えになったことは共に勉強をする友人の存在です。先取りして学習の進んだ内進生や、モチベーションの高い周囲の人たちにつられて自分も勉強を続けるようになりました。そのような環境下にいたことで勉強をしつつも部活に力を注いで充実した高校生活を送ることができました。



東北大学 工学部
電気情報物理工学科

佐々木 武斗
秋山中出身
バレーボール部

「努力は裏切らない！」

私は、茨城県で教員になりたいと思い、1年生の時から茨城大学を志望していました。日立一高では、みんなが高い目標に向かって学習していたので、私も意識を高く保つことができました。私は、剣道部に所属していましたが、部活動で身につけた礼儀や忍耐力は日々役に立っています、一高は自由度が高い学校のため、学校生活の充実は自分にかかっています！様々な活動に一生懸命取り組み、仲間と共に努力したことが必ず将来の財産になると思います。



茨城大学 教育学部
学校教育教員養成課程
教科教育コース
国語専修

國分 結
駒王中出身
剣道部



筑波大学 人間学群
心理学類

佐々木 颯
久慈中出身
サッカー部

「仲間の存在」

日立一高で出会った素晴らしい友人たちの存在が、私の高校生活の大きな支えとなりました。日立一高には、高い志を持ち勉強や部活動に励む生徒が多くいます。特に私は部活動の面で友人の存在の大切さを感じました。辛い時に共に励まし合い支え合って乗り越えたこと、楽しい時など大切な時間を一緒に共有できたことはとても素晴らしい経験であり、私一人では決して得られなかったものだと思います。



筑波大学
体育専門学群

林 太一
多賀中出身
野球部

「目標の為にやり尽くす」

自分が高校生活で一番力を入れたことは部活動です。正直、3年生の夏までは野球しかしていませんでした。しかし、たくさんの先生方のサポートのおかげで勉強にもスイッチが入り目標の大学に進学することが出来ました。これは、日立一高だったから達成できたことだと思います。

筑波大学に進学を決めた1番の理由は、筑波大学で大好きな野球を続けたかったからです。また、将来スポーツ関係の仕事に就きたいと考え、スポーツの事を学べる最高峰の大学はどこだろうと探した時、やはり筑波大学が1番だと思い、進学しました。

目標があれば部活動・勉強も両立可能。これからも文武両道の日立一高であって欲しいと思います。

「楽しむことも全力で」

私は家からの距離でなんとなく大学を決めました。一人暮らしがしたかったので県外で、なおかつ関東がいいという漠然とした気持ちで宇都宮を選びました。そこから学科のことを調べていくうちに具体的な目標が見えるようになり、「合格したい。合格するんだ」と強い気持ちが芽生えました。

正直1、2年生の時は部活動ばかりしていてあまり勉強してませんでした。引退してからは苦勞しましたが、実際、志望大学に合格できましたし、不可能なことでは無いので、しっかり部活動も学校行事も全力で楽しんでくださいね。



宇都宮大学
地域デザイン科学部
社会基盤デザイン学科

内山 颯太
勝田二中出身
バスケットボール部

「部活動との両立」

私は日立一高に入学してからの3年間、とても充実した高校生活を送ることができました。特に、部活動では、気の合う仲間たちと出会い、毎日弓道に打ち込んでいました。今は中央大学に進学し、公認会計士を目指して勉強しています。

日立一高には、熱心に指導してくださる先生方がおり、本人のやる気次第で勉強と部活動を両立することができます。皆さんも沢山のことを学び、経験して、充実した高校生活を送ってください。



中央大学 商学部
会計学科

遠藤 陽史
大島中出身
弓道部